

24時間365日CO2排出量実質ゼロの 「サステナブル基地局」を運用開始

～太陽光パネルとCO2排出量実質ゼロプランで、カーボンニュートラルを実現～

沖縄セルラーは2023年10月24日から、カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量実質ゼロの「サステナブル基地局」(注1)を運用開始しました。

「サステナブル基地局」は、太陽光発電で自律的に電源を確保することができ、晴天であれば、1局の基地局運用に必要な(1日分の)電力の50%を供給することが可能となります。また、沖縄電力株式会社が提供するCO2排出量実質ゼロとなる「うちな～CO2フリーメニュー」(注2)による電力供給に自動で切り替わることで、24時間365日CO2排出量実質ゼロを実現します。



<サステナブル基地局>

■「サステナブル基地局」の特長

- 基地局に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を基地局設備の電力として活用します。また、災害などで商用電源の供給が滞った場合も、太陽光パネルで発電した電力を活用し、非常用電源の蓄電池を長持ちさせることで、通信が途絶えにくくなります。
- 太陽光発電ができない夜間や悪天候時には、CO2排出量実質ゼロとなる「うちな～CO2フリーメニュー」の電力を活用します。

沖縄セルラーは、今後も、太陽光発電と再生可能エネルギーを活用した「サステナブル基地局」を拡大していきます。また、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの検討を進め、沖縄セルラーグループ目標である2030年度までにCO2排出実質ゼロを目指していきます。(注3)

(参考) 沖縄セルラーの CO2 排出量削減に向けた取り組み

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none">• 自社オフィスへの再生可能エネルギー導入• 通信局舎（南城ネットワークセンター、とみぐすくネットワークセンター等）への再生可能エネルギー導入• 植物工場（南城、大宜味）への再生可能エネルギー導入• <u>携帯電話基地局で使用する電気の再生可能エネルギー電気への切り替え（非化石証書の活用を含む）</u>• <u>携帯電話基地局への太陽光発電設備の導入</u>• 携帯電話基地局や通信局舎における省電力技術の導入• 通信局舎利用状況に応じた空調効率の最適化
---------------	--

- 注 1)
太陽光パネルの設置に関わらず、2023 年度以降に設置する、カーボンニュートラルなどサステナビリティに貢献できる要素が盛り込まれた基地局のことを指します。
- 注 2)
電力会社の電源と環境価値証書をセットにすることで、再生可能エネルギー実質 100%かつ CO2 排出実質ゼロとみなすことができるプラン。
- 注 3)
沖縄セルラー、2030 年までに CO2 排出を実質ゼロへ〜クリーンエネルギーロードマップ 2030 を策定〜（報道発表 2021 年 5 月）

【報道機関からのお問い合わせ先】
沖縄セルラー電話株式会社 サステナビリティ経営推進部 広報担当 大城
TEL (098) 953-3153